

発行：千厩市民センター  
 発行日：令和3年8月25日  
 電話：52-2309 FAX：53-2565  
 ホームページ http://www.senmachi.com



# せんまや 市民センター

## 短歌・俳句・川柳

**千厩短歌会** 兼題 「鮎」 「青風」 当季雑詠

長かりし勤めをやめて使はざる靴の底にある古扇子  
 耳遠き我にもしかと聞こえて夜半に降り出す雨にやすらぐ  
 想像を超えし地滑りひと呑みにあの夢の街熱海を襲う  
 小学校の閉校記念誌手にとれば思い出満つる木造校舎  
 虎の尾は野をかけてゆく子犬たち白き花の穂びゆん揺らす  
 茜空燃ゆるかなたに明日がある白百合の花かをる夕暮

頼る子の次々老いて冷奴  
 夏蝶の影を大きく来たりけり  
 匂ひ立つ夜干の梅の肌ざわり

父の日の似顔絵だけのプレセント  
 青風さわさわ栗の木を揺らす  
 女将焼く鮎じつと待つ三姉妹  
 山百合の休耕田にカキツバタ  
 床緑日映いほどの蔵の廊  
 釣りたての鮎をつたえ里帰り  
 立葵愛でて話のつきぬ今朝  
 のうぜん火色夕日と分かち合ひ  
 蝉鳴けり納骨堂の蓋を閉す  
 尺蠖の白線道を渡り切る  
 青風三兄妹の三味線ひびく  
 球を追う野の先広き夏の雲  
 風に乗る山百合匂う月の夜  
 仕事終え鮎釣りに行く父笑顔

「入梅・つゆ・カレール」  
 清風 梅雨冷えに居るコロナ勢を出す  
 昭子 梅雨空にせめておニューの雨合羽  
 福男 コロナ禍で気分はいつも梅雨模様  
 梅雨明けのように待てるコロナ明け

「若葉」 当季雑詠  
 鋪装路に蟻の見えざる炎暑かな  
 深山行く静けさ破る蝉の声  
 カーテンを替え拾う風涼しけり

「涼し」  
 よし子 舗装路に蟻の見えざる炎暑かな  
 真木 深山行く静けさ破る蝉の声  
 弘明 カーテンを替え拾う風涼しけり

「青風」 当季雑詠  
 ふる里の透る玉石鮎の群  
 雄叫びをあげてうねりて青風  
 急流に白き影あり鮎二匹  
 迷いなく空突く二本今年竹  
 古井戸の屋根は錆びをり矢車草  
 暗闇に螢火一つゆらゆら  
 ブローチの如く黒蝶左胸  
 熱帯夜バイクの音と救急車  
 につこりとふり向く女児の夏帽子  
 棒撚る背掛かり鮎の突っ走り  
 青風葵の花を抱きおこす  
 紫陽花の濡れ葉の陰に蛙鳴く  
 申の鮎浮き出た塩に香の纏ふ  
 小さき手線香花火の玉落ちる  
 真夏日は座して仏の如くふる

「鮎」 兼題  
 和喜 ふる里の透る玉石鮎の群  
 井篤 雄叫びをあげてうねりて青風  
 秋水 急流に白き影あり鮎二匹  
 春雪 迷いなく空突く二本今年竹  
 久保 古井戸の屋根は錆びをり矢車草  
 紫蘭子 暗闇に螢火一つゆらゆら  
 京 熱帯夜バイクの音と救急車  
 この美 につこりとふり向く女児の夏帽子  
 子緒 棒撚る背掛かり鮎の突っ走り  
 爽 青風葵の花を抱きおこす  
 若郵 紫陽花の濡れ葉の陰に蛙鳴く  
 秋江 申の鮎浮き出た塩に香の纏ふ  
 乙女 小さき手線香花火の玉落ちる  
 真夏日は座して仏の如くふる

「若葉」 当季雑詠  
 鋪装路に蟻の見えざる炎暑かな  
 深山行く静けさ破る蝉の声  
 カーテンを替え拾う風涼しけり

「涼し」  
 よし子 舗装路に蟻の見えざる炎暑かな  
 真木 深山行く静けさ破る蝉の声  
 弘明 カーテンを替え拾う風涼しけり

「青風」 当季雑詠  
 ふる里の透る玉石鮎の群  
 雄叫びをあげてうねりて青風  
 急流に白き影あり鮎二匹  
 迷いなく空突く二本今年竹  
 古井戸の屋根は錆びをり矢車草  
 暗闇に螢火一つゆらゆら  
 ブローチの如く黒蝶左胸  
 熱帯夜バイクの音と救急車  
 につこりとふり向く女児の夏帽子  
 棒撚る背掛かり鮎の突っ走り  
 青風葵の花を抱きおこす  
 紫陽花の濡れ葉の陰に蛙鳴く  
 申の鮎浮き出た塩に香の纏ふ  
 小さき手線香花火の玉落ちる  
 真夏日は座して仏の如くふる

「鮎」 兼題  
 和喜 ふる里の透る玉石鮎の群  
 井篤 雄叫びをあげてうねりて青風  
 秋水 急流に白き影あり鮎二匹  
 春雪 迷いなく空突く二本今年竹  
 久保 古井戸の屋根は錆びをり矢車草  
 紫蘭子 暗闇に螢火一つゆらゆら  
 京 熱帯夜バイクの音と救急車  
 この美 につこりとふり向く女児の夏帽子  
 子緒 棒撚る背掛かり鮎の突っ走り  
 爽 青風葵の花を抱きおこす  
 若郵 紫陽花の濡れ葉の陰に蛙鳴く  
 秋江 申の鮎浮き出た塩に香の纏ふ  
 乙女 小さき手線香花火の玉落ちる  
 真夏日は座して仏の如くふる

「入梅・つゆ・カレール」  
 清風 梅雨冷えに居るコロナ勢を出す  
 昭子 梅雨空にせめておニューの雨合羽  
 福男 コロナ禍で気分はいつも梅雨模様  
 梅雨明けのように待てるコロナ明け

「若葉」 当季雑詠  
 鋪装路に蟻の見えざる炎暑かな  
 深山行く静けさ破る蝉の声  
 カーテンを替え拾う風涼しけり

「涼し」  
 よし子 舗装路に蟻の見えざる炎暑かな  
 真木 深山行く静けさ破る蝉の声  
 弘明 カーテンを替え拾う風涼しけり

「青風」 当季雑詠  
 ふる里の透る玉石鮎の群  
 雄叫びをあげてうねりて青風  
 急流に白き影あり鮎二匹  
 迷いなく空突く二本今年竹  
 古井戸の屋根は錆びをり矢車草  
 暗闇に螢火一つゆらゆら  
 ブローチの如く黒蝶左胸  
 熱帯夜バイクの音と救急車  
 につこりとふり向く女児の夏帽子  
 棒撚る背掛かり鮎の突っ走り  
 青風葵の花を抱きおこす  
 紫陽花の濡れ葉の陰に蛙鳴く  
 申の鮎浮き出た塩に香の纏ふ  
 小さき手線香花火の玉落ちる  
 真夏日は座して仏の如くふる

「鮎」 兼題  
 和喜 ふる里の透る玉石鮎の群  
 井篤 雄叫びをあげてうねりて青風  
 秋水 急流に白き影あり鮎二匹  
 春雪 迷いなく空突く二本今年竹  
 久保 古井戸の屋根は錆びをり矢車草  
 紫蘭子 暗闇に螢火一つゆらゆら  
 京 熱帯夜バイクの音と救急車  
 この美 につこりとふり向く女児の夏帽子  
 子緒 棒撚る背掛かり鮎の突っ走り  
 爽 青風葵の花を抱きおこす  
 若郵 紫陽花の濡れ葉の陰に蛙鳴く  
 秋江 申の鮎浮き出た塩に香の纏ふ  
 乙女 小さき手線香花火の玉落ちる  
 真夏日は座して仏の如くふる

資源回収に協力願います。古新聞 雑誌 ダンボール アルミ缶 など。  
 回収場所は千厩市民センター東側へ向かって右側にあります。※缶はつぶさないで持ちください。



学びの土曜塾



スポチャレ・キッズ

## チャレンジした「すてきな夏休み」

千厩市民センター主催の学びの土曜塾と千厩地区体育協会主催のスポチャレ・キッズは7月27日、「ミニ畳づくり」と「ボルダリング」を行いました。ミソノ畳店の小野寺和希さんの指導のもと、16人の参加者はA4サイズほどのミニ畳に好きな柄の縁（へり）を付ける作業をしました。

また、ボルダリングでは、ルールと安全な登り方を教わったのち、みんなで直角の斜面にチャレンジしました。参加した児童は「すてきな夏休みを過ごせた」「久しぶりに会う友達とやれて楽しかった」と満足したようでした。



**昼食**

お昼のお弁当は 社会福祉協議会主催の千厩こどもキッチンから。その名も「バランス弁当」。栄養のバランス、色のバランスの説明を聞いて、美味しくいただきました。



## 空に傘、感動の合唱 館山唱歌音楽学校



7日の「アンブレラスカイせんまや」のオープニングに館山唱歌音楽学校が登場。手話を交えた合唱は、感動的でした。アンブレラスカイ、希望に向けた歌声をありがとうございました。

合唱の様子はYouTubeでご覧になれます。

## ～けいさつからのお知らせ～

### 高速道路の事故防止

走行速度の速い高速道路で、一般道路と同じ運転をするのは危険です。少しの不注意が重大な事故に直結します。



- 十分な車間距離と安全速度で  
交通事故、気象の変化、落下物等の咄嗟の出来事にも安全に対応できるよう、車間距離を長く取り、常に標識を確認して規制速度を守りましょう。
- 逆走（Uターンやバック）は禁止  
目的のインターチェンジを過ぎてしまった場合でも、慌てずに次のインターチェンジで降りてから戻りましょう。ちょっとだけでも戻っては絶対ダメ！  
問い合わせ先 千厩警察署 51-0110

3年4月～8月回収実績  
古紙類 4ト  
金属類 104キ